

本村自治振興センターだより

あんしん

2022年 9月号



訂正とお詫びについてお知らせ

8月号の「あんしん」にてセンターの電話番号を誤って記載しておりました。
お問い合わせいただいた方には大変ご迷惑をお掛けしてしまい、申し訳ありませんでした。

第2回本村地区グラウンド・ゴルフ大会のお知らせ

秋の恒例となっております、本村地区 G・G 大会を開催したいと思います。涼しくなってきましたので、是非、皆さんと一緒に運動し、いい汗をかきませんか!

開催日 2022年10月10日(祝日)
時間 受付 午前9時～ 開始 午前9時30分～

※人数把握をしたいので、参加される場合は事前にご連絡がいただけると助かります。よろしくお願い致します。



ふれあい給食



まだまだ残暑のきびしい暑さが続いています、暦の上では秋に入りました。

若干ですが朝・夕が涼しくなった気がします。この寒暖差で今の時期は秋ナスが美味しい季節を迎えましたね。各調理ボランティアさんのお宅では、その他の野菜も休まず爽り続けてくれているそうです。その野菜を使って美味しく調理していただきましたので、紹介したいと思います。

8月24日 黄野菜たっぷりお弁当

かぼちゃのサラダ
糸瓜の酢の物
サバの塩焼き
天ぷら
ささみと万願寺炒め
茄子のケッチャップ
マヨ和え
きんぴら
梅としおっぺの混ぜご飯
モロッコ豆の卵とし

9月14日 もりもり天ぷらのお弁当

サバの塩焼き
天ぷら(7野菜)
みょうが・きゅうり・糸瓜の酢の物
オクラのおかか和え
浅漬け
だし巻卵
ゆかりご飯・梅干し
カボチャの煮つけ



『稲刈り作業中』

本村・上谷より

ついに実りの秋になり、各所で稲刈りをされている姿を見かけます。

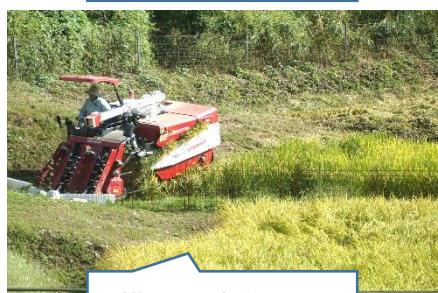
今年はざっと見て、病気なども無くどこもよく出来ているように見えたのですが、出来栄えはどうだったでしょうか。早い所で8月中に稲刈りをされている所もありましたね。4月から始まった米作り、終わられた方も、まだまだ続いている方も、皆さんご苦労様でした。出来たてのおいしい新米を食べて英気を養い、また来年頑張りましょう!!



野谷 田丸さん



太郎丸 藤川さん



横呂 須澤さん



青龍 田邊さん

今年の稲刈りシーズンは暑さとの戦いだと言われられていました。まだまだ暑い日が続くようなので、体調には気を付けて作業してくださいね。



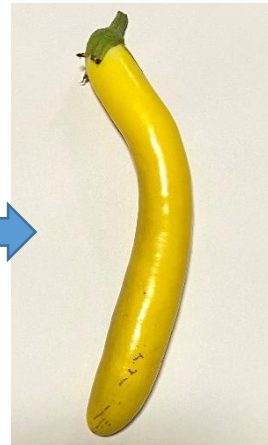
『ナスの不思議!?!』

(青龍) 田邊宅より

紫色の長ナスを栽培していたのですが、2週間近く収穫せずいたら完熟して綺麗な黄色に変身していました!中身も見事に黄色でした!

普通は白色のナスが完熟すると黄色に変色するらしいのですが、これは紫色のしっかりした色のナスだったので、なぜこうなったのだろうかと思ひます。今でも収穫していますが、それ以降、黄色のナスは発見できていません。

皆さんのお宅のナスはこんな現象ありますか?



『田舎のガキ大将・捕獲作戦』

(上谷・横呂) 八島さん宅前より

作物被害が深刻化する中、どうしても捕まえてやろうと、近所のおじさんが毎日せつせと米ヌカをやりに通ったかいがあり、丸々と大きく育った元気な男の子がやって来てくれました。50~60 kgはあろうかというサイズで、近くで見ると結構な迫力がありました。日夜繰り広げられる害獣との攻防戦ですが、こうして捕獲できたと聞くと少しホッとしますね。戦いは続きますが、またの報告が上がることを期待しています!



『長すぎる驚異の豆』 (三十戸) 森永重孝さんより

皆さん、『ささげ豆』という豆をご存知でしょうか?

インゲン豆のような姿ですが、長さが 30 cm 以上になる、なが~~~~~い豆なんです。若採りすれば^{まき}莢ごと茹でたり炒めたりで食べられるようです。大きくなったものは小豆のようになるので、赤飯やお菓子作りに使えるそうです。

そして今回、森永さんに見せていただいたささげ豆は、なんとなんと 50 cm 以上にもなる長いお豆さんでした! 8月末頃が最盛期で^{すだれ}簾のようになっていて教えてくださいました。しかも 1 つの花から 2 つ^{まき}莢ができるそうなので、収量は×2 で豊作だったそうです! プランター栽培もできるようなので、それこそ夏は陽射し除けの^{すだれ}簾にできますね!! 珍しい野菜を紹介してくださり、ありがとうございました



1番長いのは 52 cm もありました



見た目はインゲンマメが長くなったような姿



↑ 参考画像

『絶滅危惧種ツチアケビ発見』 (共栄会) 草刈隊より

8月25日・26日で共栄会によるピラミッドの草刈り作業が行われ、その際に発見されたものです。

ツチアケビ(土あげび)とは言いますが、ラン科の植物(多年草)で日本固有種だそうです。

地上部には光合成をする葉がなく、地下茎にて他の植物の根から栄養を吸収する寄生型の植物です。初夏(6月頃)に黄色い花を咲かせ、秋に果実ができます。多数のウイナーソーセージをぶら下げたような姿をした草丈 50 cm~100 cm になる不思議な植物です。絶滅危惧種に指定されており、とても珍しい植物なんだそうですよ。

別名『土通草』^{どつうそう}『山錫杖』^{やまじやくじょう}とも呼ばれ、漢方として採集されることがあるそうです。今では 150g が 1,100 円程度で取引されているとか。とても珍しい希少な植物が本村の山に生息していたようです。



今回発見されたツチアケビ

↑ 参考画像 開化した花

『轟く雷の恐怖』 (後迫) 高田さん宅より

台風 11 号の影響で 9 月 1 日の午前 4 時過ぎ頃から雷と大雨が激しく降り続けました。雷は地響きと稲光がすごく、どこかに落ちるかも思っていたら、本当に思わぬ所へ落ちていたようです。

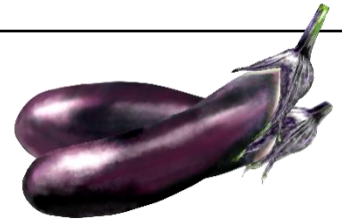
高田さん宅への^{あが}上り口にあるヒノキ(檜)へ雷が落ち、樹が朝方燃えていたとのこと。表面の皮が剥がれバラバラになっていました。火事にならなくてよかったです。

家や車など人のいる所に落ちなくてホッとしたのと、自然災害はやはり怖いと思う瞬間でした。



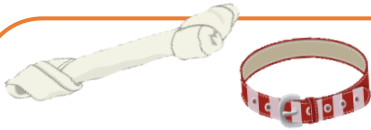
雑学・豆知識

秋ナスにちなんで『秋ナスは嫁に食わずな』ということわざの意味を知っていますか？
これには3通りの解釈の仕方があるそうです。それをご紹介します。



- 解釈① おいしい秋のナスはもったいないから嫁には食べさせるなという嫁に対する姑のいびり言葉
解釈② 子どもができないといけないからお腹を冷やしてはいけないという、嫁を大切に思う言葉
解釈③ 鎌倉時代の和歌集『夫木和歌抄』に「秋なすび わささの粕につきまぜて よめにはくれじ 棚におくとも」という歌があります。これは酒粕につけた秋ナスを美味しくなるまで棚に置いて、ネズミに食べられないように注意せよという意味です。ここでの『よめ』は「夜目＝ネズミ」を指しています。
つまり当初の『秋ナスはよめに食わずな』とはネズミに食べさせるなという意味にもなるということですね。

果たして皆さんはどれが正解だと思いますか??



募集事項のお知らせ

次号(10月号)でワンちゃん紹介コーナーを作りたいと考えており、犬の写真を募集しています。
「我が家の愛犬を載せてもいいよ」と言ってくださる方は、振興区までご連絡をいただくと助かります。
ワンちゃんのお名前と年齢、性格や特技なども教えていただけたらと思います。
写真をメールしてくださるのも大歓迎です！
ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、是非よろしくお願い致します。



おくりもの

次の方より本村自治振興区・本村社会福祉協議会へご寄付をいただきました。

香典返し

- 【灰是】 是本昌男 様 (故 是本百代 様)
【下表】 末時守 様 (故 末時智明 様)
【祇園谷】 芥川徹 様 (故 芥川幸枝 様)
【月貞寺】 久保信行 様 (故 久保タツコ 様)

お見舞返し

- 【野谷】 山口衛 様

ありがとうございました。大切に使用させていただきます。

編集後記

今年は台風が来ないのかと思っていたら、11号が過ぎ去り、次は12号が発生しましたね。ここ県北ではあまり災害がなく、ほっと一安心しました。ダメージが大きかったのは稲刈りシーズンに入られた農家さんでしょうかね。短時間ではありましたが、雨脚の強い雨が降ったことで、各地で稲が倒れていました。よく熟れていたのがコケたところが多いのは仕方ないですね。まだ今から稲刈りされるという方、今年もうひと踏ん張り頑張ってください!!
美味しいお米ができたよという嬉しい報告をお待ちしております!

お助けネット

蜂の巣撤去	3件
草刈り	1件

発行	2022年9月20日
発行元	本村自治振興区
住所	〒727-0623 庄原市本村町1234-1
TEL	(0824)-78-2743
Mail	hon.jichi@gmail.com